

報告タイトル (* 日本語と英語両方ご記入ください)

習近平政権の「対外宣伝」：その狙い、メディア戦略と担い手をめぐり

The External Propaganda in Xi Jinping's Era: its aims, media strategies, and actors

氏名(所属)

王冰(暨南大学東京校)

WANG Bing (University of JiNan)

要旨(800字程度)

習近平政権の「対外宣伝工作」は江沢民政権や胡錦濤政権の国家イメージづくりと国のソフト・パワーの重視を担うものと大きく異なり、単なる対外の宣伝広報活動ではないことが明らかである。本報告の目的は習政権の「対外宣伝」をめぐり、その狙い、メディア戦略および担い手を考察することである。

本報告の考察を通じて習近平政権の「対外宣伝」はイデオロギー、プロパガンダ、外交、共産党の支配体制、政権統治と運営などの多領域と一体化したものであることが分かった。その内包する意味について以下の知見を得られた。

第一に、「対外宣伝工作」は西側のイデオロギー浸透を封じ込めるイデオロギー安全と防衛、西側とのイデオロギー闘争、及び中国モデルのイデオロギー輸出と正当化と一体化した。習近平政権の「対外宣伝」の狙いは国際社会における「話語権」の獲得と強化、及び「中国特色のある話語体系」の構築を通じて、西側のイデオロギーに対抗する中国モデルの価値観やイデオロギーの提示、さらに国際社会に浸透させることである。

第二に、「対外宣伝」のプロパガンダ手法としては、習近平の「大宣伝」理念から派生した「大外宣」戦略の担い手は従来の宣伝部門とメディア機関だけではなく、各政府部門、党の機関及び人民団体、社会的アクターなどとも宣伝統一戦線を結成させ、「宣伝工作」の全面化と一体化が特徴的である。

第三に、「対外宣伝」の外交的狙いとしては、「中国特色のある国際コミュニケーション能力と体系の建設」を通じて、西側中心の話語、ナラティブ、国際世論及び国際コミュニケーションといった国際秩序に対抗するための新たな話語秩序とコミュニケーションレジームを作り上げようとするところがある。

第四に、「大外宣」戦略における「対内宣伝」と「対外宣伝」の一体化は、習近平政権統治の安全と共産党支配の正統性維持と直結する。

第五に、「対外宣伝」は党中央及び習近平個人への集権的政権運営の表れである。